

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県岡崎市立形埜小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒444-3435
愛知県岡崎市桜形町字中嶋13番地
 E-mail : katano@st.oklab.ed.jp
 Website : http://www.oklab.ed.jp/weblog/katano/
 児童生徒数：男子 28名 女子 32名 合計 60名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ふるさと形埜のもの・こと・人という地域に根ざした教材開発と子どもが主人

公となる授業展開をすることで、やる気をもってねばり強く追究する力を育む。

- ・子どもに発見と感動が生まれるふるさと形埜に根ざした地域教材の発掘
- ・子どもをとらえ、教師自身の熱い願いのもった教材開発とねばり強い追究の実現
- ・地域のもの・こと・人を活かした授業展開の探究

以上のことを踏まえて、以下のような実践を行った。

◎各学年の追究

<1年生>

単元「ぼくたちはカブトムシはかせ」(生活科20時間完了)

2年生から譲り受けたカブトムシの幼虫を飼育観察し、次の1年生にバトンタッチしていく活動。地域講師のNさんに年間通して飼育の仕方を学んでいる。カブトムシの飼育のなかで、命の尊さを学んでいくとともに、地域の方々の知恵に触れることができた。

<2年生>

単元「おいしいやさいをそだてよう」(生活科30時間完了)

自分の祖父母を講師として招き、夏野菜・冬野菜を育て、食していく活動。身近にいる祖父母から知恵と技を学ぶことができた。野菜を育てる活動を通して、減農薬栽培、野菜につく虫、土づくりの大切さなどを学ぶことができた。

<3年生>

単元「ふるさと形埜の宝～ヤマユガ・ササユリに学ぼう～」

(総合的な学習・理科・図工 30時間完了)

4年生から受け継いだヤマユガの卵を孵化させ、幼虫・成虫へと変化していく様子を観察記録していく活動。自然のヤマユガと比較しながら飼育し、卵を産ませて次の学年に命のバトンをつないでいく。また、形埜ササユリ保存会の方の指導を受けながら、学区に群生するササユリについて学んでいった。

<4年生>

単元「ふるさと乙川を守り隊 出動！」(総合的な学習・社会科・国語・特活 47時間完了)

学区を流れる乙川の生き物に目を向け、川魚の飼育活動・広報活動などを行う。活動を通じて、国の天然記念物に指定されているネコギギが息息する乙川を美化していこうという意識の向上が見られた。

<5年生>

単元「形埜の森 共生プロジェクト」(総合的な学習・社会科・図工・特活 86時間完了)

4年生で学んだ川の水源調査からスタートし、川を守る森について学ぶ活動。長年森とともに生きている地域講師から、水源地となる森林の大切さを間伐体験等を通して学んでいった。また、開発によって追いやられる野生生物との共存についても追究をふかめていくことができた。

<6年生>

単元「守ろう形埜の自然～僕たちにできること～」(総合的な学習 46時間完了)

これまでの木の芽学習で学んだ自然の素晴らしさを今一度見直し、それらを守っていこうという気持ちを高める活動。特に、乙川の浄化のために、地域講師の指導を受けながら、学校に炭焼き窯を造り、木炭づくりを行った。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()